

令和7年度第2回宮古構想区域医療構想調整会議(書面開催)議事等 とりまとめ結果

1 協議事項

- (1) 地域医療構想における具体的対応方針について
承認 (18名回答/委員18名中)
- (2) 病床機能報告の結果について
承認 (18名回答/委員18名中)
- (3) 宮古保健医療圏における岩手県保健医療計画の進捗評価について
承認 (18名回答/委員18名中)

2 協議事項に係る意見等について

(1) 地域医療構想における具体的対応方針について

- ・ 宮古地域は高度急性期に対応できる病床はなく、県立宮古病院でそれを担っているため、機能報告で余裕があるように見える。急性期病床にも業務の余裕は全くない。このギャップを埋める方向の施策が必要と考える。(宮古病院 佐藤委員)

【回答】

(医療政策室) 病床機能報告は、主に担っている医療機能を医療機関の自主的な選択で、病棟単位で報告する制度となっており、実態と異なる結果となる場合があると承知しています。

新たな地域医療構想の策定に併せ、令和8年度の病床機能報告から、制度改正が予定されていることから、その変更点と併せて、改めて病床機能報告の制度内容について周知してまいります。

- ・ 病床数より、各機関の役割分担の明確化が今後の大きな課題と思われる。(済生会岩泉病院 吉田委員)

【回答】

(医療政策室) 新たな地域医療構想においては、必要病床数や病床機能のみならず、医療機関機能が論点の一つとなっております。今後示される国のガイドラインをもとに、令和8年度から開始予定の「医療機関機能報告」の結果を踏まえながら、地域医療構想調整会議で必要な議論を進めてまいります。

(2) 病床機能報告の結果について

- ・ 実際には一病棟で高度急性期～回復期・慢性期に相当する患者が混在しており、実態を十分反映していない。
(宮古病院 佐藤委員)

【回答】

(医療政策室) 病床機能報告は、医療機関の自主的な選択により病棟単位で報告する制度となっており、実態と異なる結果となる場合があると承知しています。新たな地域医療構想の策定に併せ、令和8年度の病床機能報告から、制度改正が予定されていることから、改めて各医療機関に制度内容について周知するとともに、必要に応じて国に対応を求めてまいります。

- ・ 急性期病床数は117床過剰との結果だが、宮古病院の稼働率は今年度80～90%と高く、回復期・慢性期病院とのさらなる連携が必要と思われる。
(済生会岩泉病院 吉田委員)

【回答】

(医療政策室) 新たな地域医療構想においては、85歳以上の高齢者の増加に対応した医療機関等の役割分担が論点の一つとなっていることから、引き続き地域の医療機関の役割分担が円滑に行われるよう、県としても必要な役割を果たしてまいります。

(3) 宮古保健医療圏における岩手県保健医療計画の進捗評価について

- ・ サーモンケアネットが有効に利用できなかったことが残念です。
医療人材育成に注力が必要。(済生会岩泉病院 吉田委員)

【回答】

貴重な御意見ありがとうございます。

サーモンケアネットの廃止は、非常に残念であり、今後の圏域における医療介護連携体制等について、市町村や医師会、医療介護機関、関係団体等と情報共有や意見交換を行っていくことが重要と考えております。

医療人材育成については、将来の医療従事者の確保に資するため、高校生を対象とした医療職に係る進路選択セミナーを引き続き実施してまいります。

3 報告事項等に係る意見等について

(1) 新たな地域医療構想の策定・保健医療計画の中間見直しについて

- ・ 人口動態と経済の予測より、これからマンパワーと経済力が悪い方向に向かうことが考えられます。今のままの医療サービスを継続することは難しいと思われれます。
その中であって、次善の策を模索することが必要かもしれません。
サービスの場を集約してコンパクト化することはできるでしょうか。これといった良いアイデアが浮かばず申し訳ありませんが、今のままの規模では行き詰まらないか心配です。(宮古医師会 林委員)

【回答】

(医療政策室) 今後、生産年齢人口の大幅な減少により、医療人材確保が難しくなり、必要な医療提供体制が維持が困難となる可能性もあることから、新たな地域医療構想では、医療の質や医療従事者の確保、医療DXの推進などが大きな論点になると承知しています。医療提供体制は、地域の関係者が議論してそのあり方を検討していく必要がありますが、県としてもその議論が円滑に行われるよう、必要な役割を果たしてまいります。

- ・ 基幹病院と地域病院・各施設の明確な役割分担の設定と日常的な情報共有体制の確立が必要と思います。(済生会岩泉病院 吉田委員)

【回答】

(医療政策室) 医療機関の役割分担の議論や情報共有については、今後も地域医療構想調整会議において議論が進むよう県としても支援してまいります。

(2) その他意見・質問等

- ・ 宮古病院と連携する病院が日常的に症例の報告・受入れについて密に情報支援すべきと思います。加えて、病院と各施設も同様に、情報共有して役割分担を明確に確認し合うことが必要。（済生会岩泉病院 吉田委員）

【回答】

貴重なご意見ありがとうございます。

新たな地域医療構想における体制以降、構想区域内の調整会議において情報共有等してまいりたいと思います。